

兵庫の林業

2015. 10 No. 274



もくじ

「ひょうご」森のまつり2015」を
上郡森林体験の森で開催・・・12
平成26年8月豪雨災害
丹波市の災害復旧状況・・・3
災害に強い森づくり第2期対策の検証結果
と第3期の取組・・・4
第28回特用林産功労者表彰・・・5
「県産木材内装モデルルーム」が
オープン！・・・5
第50回全国木材産業振興大会における
協同組合事業等功績者表彰・・・6
△森林ボランティア活動△
「山田の里・学習の森」・・・6
△普及だより△
「資源循環型林業」を目指して・・・7
10月25日は「ひょうご」森の日
県下各地で森づくりイベントを開催・・・8
「森林林業フォーラム2015」の開催・・・8
多可郡における天明二年の植林記録と
「天明の杉」(後編)・・・9、10
今年もまもなく狩猟のシーズンです！11
兵庫の巨樹・巨木(5)
題字・・・兵庫県知事 井戸敏三氏
(裏表紙)

表紙の写真

「災害に強い森づくり推進大会を開催」
平成27年9月14日、兵庫県民会館において「災害に強い森づくり推進大会」が開催され、井戸知事、石川議長などの来賓をお迎えして森林林業関係者350名が一堂に会し、県民緑税の期限延長と事業の拡充、規模の確保の要望を力強く決議しました。

また、(株)古川ちいきの総合研究所代表の古川大輔氏による「林業をリ・デザインする森づくりと人づくり」と題した林業講演会も開催しました。大会の詳細は改めて報告いたします。

11月8日(日)「ひょうご森のまつり2015」を

上郡森林体験の森(赤穂郡上郡町)で開催

兵庫県、上郡町、(公社)兵庫県緑化推進協会の共催で「ひょうご森のまつり2015」を開催します。

今年で59回目を迎えるこのイベントは、昭和31年に林業関係者を中心に緑化普及を目的に姫路市で開催された「兵庫県緑化大会」が始まりで、その後、社会情勢や県民のニーズなどにより変遷を重ね、現在の「ひょうご森のまつり」になりました。

身近にある緑豊かな自然の恩恵を知り、森を守り育てる大切さを学び、県民一人一人が森について考えるきっかけとなるように、体験型プログラムも組み入れ気軽に参加できるイベントとなっています。

本年度のテーマは「つなごう次代へ豊かな自然をみんなで守ろう水と森」です。

普段意識しない里山の魅力を、上郡森林体験の森の会場で体感をしていただければと思います。

【開催会場の二案内】

今回の開催地である上郡町は本年

合併60周年を迎えました。

町の大半は海拔三百mほどの山地と丘陵地で、中央部を南北に流れる清流千種川を中心に古くから人々が生活してきました。



上郡町(千種川と里山)

鎌倉幕府打倒に貢献した武将、赤松円心が築いた白旗城は、新田義貞率いる大軍の攻撃に耐えた難攻不落の名城で、町の北部にある城跡は国指定史跡になっています。

毎年11月に開催される「白旗城まつり」では、上郡町内外から集まった総勢百名にもおよぶ甲冑をまとった武者が会場を闊歩します。

また、幕末から明治に洋学者・軍人・技術官僚・外交官として明治政府の殖産興業の推進役を務めた大島圭介も上郡町出身です。

東西を走る山陽道、因幡街道や千

種川との結節点として上郡町は古くから交通の要衝で人の交流が盛んであり、歴史ある風土とも相まって日本近代化における偉人を生んだのではないのでしょうか。

一方、町の北東部の世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設、「Spring8」がある播磨科学公園都市は、企業の先端科学技術基盤を活かした産業の発信地となっています。

このような、過去、現在、未来が交差する町のキャッチフレーズは、「歴史と未来が出逢うまち」で、マスコットキャラクターは「円心くん」と「エイトちゃん」。

今年も会場内で2人に出逢ってタイムスリップを楽しんで下さい。



円心くんとエイトちゃん

また、都市近郊にあつて豊かな自然を有する上郡町のシンボル「千種川」は、中国山地、宍粟市に発し、多くの支川を束ねて中・下流域に農業用水として豊かな恵をもたらしています。

上流域のスギ・ヒノキの人工林に

降り注いだ雨水は、たっぷりのミネラルを含み、やがて河床が急勾配で流れの速い川で攪拌、自浄され上郡町にたどり着きます。

その後、町内を縦断し赤穂市内を貫流して播磨灘に注がれることから、上郡町は、森・川・海のまさに中間に位置し、人や文化の要衝であっただけでなく、川上から川下へ自然をバトンタッチする重要な役割を担っています。

町全体が「水の郷」の指定に、また、昭和59年度には千種川全域が当時の環境庁の「名水百選」に選定されました。

しかし、いつも穏やかな千種川も時には暴れ川となり、過去には大きな災害をもたらしてきました。

近年最も被害の大きかった昭和51年の台風17号をはじめ、平成16年の台風21号、平成21年の台風9号など、多くの住宅が浸水するなど被害が発生しました。

間伐されずに放置された上流域の人工林は下層植生が生育しにくいいため、水を保持する力が乏しく、加えて土壌浸食を受けやすく土石流の増加を招いて下流域にまで被害をもたらしました。

県では、台風災害を踏まえて、平成16年以降、流れ木や土石流の抑止効果を図るため、間伐材を利用した土留工や谷筋には簡易流木止め施設を設置、また倒木の除去など「災害に強い森づくり」を進めています。今年のテーマは水と森がキーワード。

里山の会場で、千種川で繋がっている森・里・川・海を感じとって下さい。

【森のまつりのご案内】

秋の澄んだ高い空のもと、県警音楽隊の演奏が、里山にこだましてオープンングになります。

続いて、式典、記念植樹と進み、ステージでは、地元で千年以上の歴史を誇る「山野里高嶺神社」に伝わる獅子舞を披露されます。

雄獅子のはげしく独特の舞は、一般の伊勢神楽系の獅子と異なる最も古い形のもので、町無形文化財にも指定されています。



山野里高嶺神社の獅子舞

ます。

「山野里高嶺神社」は、まつりの会場を見下ろす頂上近くにあり、神殿前の仮田で田男、早乙女に扮した男子と女子が田植えを模し豊作を祈る「お田植祭」が今でも行われ、先祖から引き継いだ貴重な自然に感謝し大切に思う気持ちは今も大切に守り育てられています。

また、ステージ近くの体験会場では、普段目にするこのない高性能林業機械がデモンストレーションをします。

ハーベスタの枝払いや玉切りのほか、チップで山に放置されている未利用材をチップにします。



高性能林業機械デモンストレーション

地元で木質バイオマス発電に取り組んでいる関係企業数社と、指導林家会という林家の集まりが共同して出展する今回の取り組みはこれまでになく、地域の資源を積極的に利用して山を活性化していこうとする

輪が広がっています。

同じ体験会場では、スクリーンに映し出された鳥獣を模擬銃でハンティングする、「シューティング・シミュレーター」が、今回初出展します。

近年、狩猟者の減少、積雪量の減少などにより、野生鳥獣の個体数が増加し、被害による森林荒廃や農林業被害が深刻化しています。

適正な生息個体数を管理していくことにより、人と野生鳥獣の共生が保たれることを是非ご理解をいただき、ハンティング体験を通して狩猟にも興味を持っていただければありがたいです。

あわせて、出展会場ではシカ肉を味わうこともできますし、お腹がすいたらうぐいす色の「モロどん」はいかがでしょうか。

王様の野菜と呼ばれる栄養価の高いモロヘイヤの粉末を練り込んだうどんで地域の特産品です。

他にもカワラケツメイを使ったお茶、「円心茶」など食を通じて上郡町に触れていただけます。

毎年町内で開催されている「商工会まつり」も本年度は同会場でお出展となりさらに会場は賑やかになります。

す。

もちろん、林業関係の団体や森林ボランティアの紹介、木工などの家族で楽しめるプログラムもたくさんご用意しています。

【おわりに】

是非多くの方にご参加いただき、楽しみながら森林の大切さを感じて、未来の子どもたちに引き継ぐ貴重な財産である森林を守り育てていく「県民総参加の森づくり」を、千種川を望む里山の会場から発信していきます。



☆お車でのアクセス

中国自動車道佐用I.C. から南へ約40分

播磨自動車道播磨新宮I.C.から西へ約30分

山陽自動車道電野西I.C.から西へ約30分

☆電車でのアクセス

JR山陽本線上郡駅・智頭線上郡駅から会場まではシャトルバスを運行予定(無料)

平成26年8月豪雨災害

丹波市の災害復旧状況

兵庫県農政環境部農林水産局治山課

一 はじめに

平成26年8月豪雨により丹波市において甚大な山地等の被害が発生しました。県や市は、二次災害防止のため、応急対策を講ずるとともに、復旧事業に取り組んできました。この度、災害発生から一年を迎えた丹波市の復旧状況について報告します。

二 丹波市の山地災害発生状況

平成26年8月16日から17日にかけて丹波市市島町では、最大日雨量414mm、最大時間雨量91mmを記録するなど局地的豪雨がありました。

この大雨により、700箇所以上（うち人家等に影響のある箇所104箇所）の崩壊が発生し、崩壊土砂量は100万m³に達しました。今回の災害の特徴は、普段は水の無い凹型形状をしている箇所や斜面頭部付近から多くの崩壊が発生し、山裾の住宅に被害を与えるとともに、崩壊が斜面途中の立木を巻き込みながら流下し、河川を埋塞したこ

とから、集落、道路、農地に連鎖的に被害が拡大しました。

三 治山・林道事業の災害復旧計画について

人家等への影響のある104箇所の崩壊地のうち、治山事業は68箇所を計画し、県と市の協議により対応箇所を調整しました。そして、残り36箇所については、砂防事業で対応することとしました。

また、林道施設災害においても、7箇所（路線）について国の災害査定を受け、復旧計画を作成しました。



土砂流出等による人家等被災状況



林道橋の被災状況

治山・林道事業に係る災害復旧事業計画

区分	事業別	箇所数	事業費
県	治山事業		
	災害関連緊急治山事業等	12箇所	11.0億円
	県単独事業	28箇所	9.4億円
	小計	40箇所	20.4億円
市	治山事業		
	県単独補助事業	6箇所	0.4億円
	市単独事業	22箇所	0.4億円
	林道事業		
	林道施設災害復旧事業	7箇所	1.0億円
	小計	35箇所	1.8億円
	治山事業	68箇所	21.2億円
	林道事業	7箇所	1.0億円
	合計	75箇所	22.2億円

四 災害発生から1年を迎えて

平成27年9月末現在、県営治山事業は、災害関連緊急治山事業をはじめとして40箇所全てについて着手済みであり、市営治山事業においても、28箇所の全てにおいて着手済みで、順調に復旧事業を進めています。



治山ダムによる復旧状況

同市市島町中竹田石像寺の裏山では、近接した複数の崩壊箇所に対応するため、県内で最大の長さ

100mの治山ダムを施工し、土砂流出防止に取り組んでいます。



長さ100mの治山ダム

市営林道事業では、7箇所（路線）の全てにおいて着手していません。



林道の復旧状況

五 終わりに

災害復旧事業は、着実に進んでおり、引き続き、事業の早期完了を目指していきます。本県では、当災害を踏まえて平成26年度に拡充した「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画」の進捗をさらに高めるため、本年度、治山ダムの整備計画を前倒し、山地災害の未然防止を図り、県民の安全安心の確保を一層推進していきます。

「災害に強い森づくり第2期対策の検証結果と

第3期の取り組みについて

1. 整備効果の検証結果について

平成25年8月から平成27年5月までの間に計7回、学識者による事業検証委員会を開催し、検証方法や評価手法等の検討、さらに調査データの分析を進め、効果検証を行った。

(1) 緊急防災林整備（斜面对策）

・シカ食害による下層植生衰退地域で、土留工を設置した整備区の間年土砂流出量は、設置しないう対照区に比べ約1/2と少なかった。また、シカ生息域では年間流出土砂量が増加傾向にあるため、下層植生の回復にも取り組む必要がある。



整備区の植生状況 (植被率7%)



対照区の植生状況 (植被率6%)

・26年8月豪雨後に、土留工を設置した丹波市氷上町・市島町において、平成18年から25年に、土留工を整備した56箇所について

て点検を行った結果、整備面積に対する面積崩壊率は0.5%と軽微であった。また、崩壊による流木・土砂の大半は林内に留まっていた。

(2) 緊急防災林整備（溪流対策）

・26年8月豪雨後に、災害緩衝林等を整備した丹波市氷上町を点検した結果、流木・土石流の発生はなく、溪流内の倒木等の除去と間伐の効果が確認できた。



豪雨後の災害緩衝林の状況 (丹波市)

(3) 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備

・植栽後6年が経過し、目標林相に向かった更新が進んでおり、風倒木被害防止機能および洪水防止機能等の発揮が期待できる。整備後年数の経過とともに植被率およびリター被覆率が増加することにより、土砂流出量が低

減し、表面侵食の防止が図られつつある。ただし、流出しやすい土質においては、伐採時の林床攪乱の軽減や土留工の設置などが必要である。

(4) 里山防災林整備

・危険木伐採後の植被率が、整備4年後で8%から51%に上昇し表面侵食防止機能が向上している。

・アンケート調査では、6割以上の住民が人家等への倒木の「不安が解消した」と回答するなど、集落の安全安心な生活が確保された。

・住民の9割以上が山に関心を持つようになり、その半数が森林整備活動への意欲を示したことから、今後の整備地の管理が期待できる。



上：整備直後、下：4年後の植生回復状況 (豊岡市)

(5) 野生動物育成林整備

・集落柵とバッファゾーンの一帯整備により被害農地が約8割減少した。
・シカによる強い食害で下層植生が衰退している地域では、植生

保護柵により、下層植生（将来の種子供給源）の被度が向上し、出現数も増加するなど、生態系保全と公益的機能の向上に繋がっている。

(6) 住民参画型森林整備

・集落柵周辺の見通し確保、野生動物の潜み場除去により農作物被害が減少した。

2. 第3期の取り組みについて

これまでの取組により、26年8月豪雨では、「災害に強い森づくり」事業地が、流木の発生や下流への土砂流出を防止するなど効果を発揮した。

しかし、近年、記録的な豪雨による甚大な山地災害が県下各地で発生しているなか、斜面崩壊・流木発生対策などの新たな課題に対応することが求められている。

9月県議会で可決された県民緑税条例では災害に強い森づくり事業として、人工林における土留工の設置、人家裏山への簡易防災施設の重点整備、間伐手遅れ林の広葉樹林化、バッファゾーンの利活用促進等に引き続き取り組むとともに、谷上流部に凹型の急斜面がある危険溪流の流木を防止する災害緩衝林等の造成、六甲山系のマツ枯れ跡地の表層崩壊を防止する広葉樹林整備等にも取り組む。

第二八回 特用林産功労者表彰

小林 和 嗣氏

原木しいたけ生産者



主なご功績

昭和44年から約45年間、豊岡市日高町八代地区において、原木しいたけの生産に従事され、北但ぎのこ生産振興協議会会長、日高町農業協同組合椎茸生産組合長を長年務めるなど、北但地域におけるしいたけ栽培の中心的存在として生産技術の向上や販路拡大に貢献。また、昭和60年の第18回全農乾椎茸品評会において全農全和会会長賞を受賞されるなど、しいたけの品質には定評があります。

しいたけ原木は、地元山林から調達し、自力で伐採、搬出、作業道開設まで行われています。近年では里山を使った地域活動で自らの経験や昔の山遊びを子ども達に伝える「やしるジツバー」の一員としても活動され、「地域資源である山林を活かす」ことを常に考えた取り組みが行われています。

「県産木材内装モデルルーム」がオープン!

県産木材の利用促進について 兵庫県林務課

県では、県産木材の利用を促進するため、兵庫県住宅供給公社と連携し、公社が管理する賃貸住宅「芦屋浜高層若葉住宅」の一室に県産木材の内装材等を使用した「県産木材内装モデルルーム」をオープンしました。

当該モデルルームは、阪神芦屋駅からバス10分の芦屋浜にある賃貸住宅で、築後約30年を経過したことから内装等の老朽化が進み、今回、大幅なリノベーションを実施して新たな魅力を提案することになったものです。

県では、今後、新築される木造住宅等の減少が見込まれる中で、既存住宅のリフォームやリノベーション分野での需要が拡大すると考えており、さまざまな形で県産木材の利用方法を提案する取組みを進めています。

このため、当該モデルルームではさまざまな県産木材製品等が自由に見られるようにしており、近隣住宅の既存入居者も含め大変好評をいただいています。

なお、当該モデルルームは公社の住宅募集センターが管理しており、どなたでも見学できますので、事前にお問い合わせのうえ、是非一度ご覧ください。

見学の問い合わせ

兵庫県住宅供給公社

公社住宅募集センター

Tel 0798(63)4810

営業時間

AM 9:00 ~ PM 5:00

火・水曜、祝日休み



兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度のご案内 ~兵庫県産木造住宅ローン~

県産木材を利用した木造住宅の新築・増改築・既存住宅長寿命化、リフォームの長期固定住宅ローンです。

- ・ 融資利率 0.9% (H27年10月1日現在) ※26~35年目は1.9%
- ・ 返済期間 25年以内 (県産木材60%以上で長期優良住宅の場合は35年以内に延長)
- ・ 融資額 新築、増改築、既存住宅長寿命化 (大規模リフォーム/リノベーション) 最高2,300万円 (県産粘土瓦使用で+200万円、環境配慮型住宅で+500万円上乗せで最高3,000万円) リフォーム 最高500万円 (県産粘土瓦使用で+200万円、環境配慮型住宅で+200万円上乗せ)

[兵庫県 木造住宅ローン](#)

検索

ひょうご木づかい王国ポイント事業のご案内

県産木材を利用した木造住宅の新築・増改築 (15万ポイント)、住宅・マンション等のリフォーム (3万ポイント) で、県内選りすぐりの農林水産品・加工品と交換できるポイントをプレゼントしています!

※県産木材の利用量や工事契約日等の条件がありますので、詳細はHPをご覧ください。

※1ポイント=1円相当 (予算満了で終了)

[ひょうご木づかい王国ポイント](#)

検索

※詳しくはパンフレットまたは県HPをご覧ください。林務課へお問い合わせください。林務課木材利用班 Tel.078-362-9224

第50回全国木材産業振興大会に
おける協同組合事業等功績者表彰

林野庁長官感謝状

大西 政一氏
姫路木材仲買協同組合理事長



主なご功績

平成元年に姫路木材仲買協同組合の理事兼副理事長に、平成20年からは理事長に就任し、平成4年からは姫路木材協同組合理事など、歴史ある姫路木材業界の振興に尽力されました。

さらに、昭和56年から兵庫県木材業特定退職金共済会の理事、平成20年からは理事長として、また、平成21年には兵庫県木材業協同組合連合会理事として、県域の業界発展と木材利用の推進においても大きく貢献されています。

理事長は、若くから「人と木のふれあいを大切に」を信条に事業と社会貢献に努め、ライオンズクラブの地区ガバナーを歴任するなど、経済界にも大きな信頼があります。

全国木材協同組合連合会長賞

岡本 昭徳氏
明石市木材業協同組合理事長



主なご功績

平成20年から神戸木材仲買協同組合の理事、副理事長を歴任、平成22年から明石市木材業協同組合の理事長、平成23年からは兵庫県木材業協同組合連合会理事として地域木材業界の振興と木材利用の推進に貢献されています。

全国木材組合連合会長賞

籠谷 紘義氏
加印木材組合組合長



主なご功績

昭和63年から加印木材組合理事、平成22年から組合長、同年からは兵庫県木材業協同組合連合会理事として地域木材業界の振興と木材利用の推進に貢献されています。

森林ボランティア活動

「山田の里・学習の森」

山田の里グリーンクラブ 会長 西本 紘二

山田の里グリーンクラブは、平成15年11月設立され、今秋12周年を迎えることが出来ました。

設立以来9年間活動地でありました、みのたにグリーンスポーツホテルが閉鎖され現在地に変更されました。新活動地は新興住宅地に隣接し、里山林、棚田、ため池を合わせて一五〇〇坪(約五〇〇〇m)あります。

通常活動は、1、林内整備・保全、2、棚田の復旧・再生を中心に毎月4回活動しています。特別活動として、1、中学2年生の「トライやる・ウィーク」で2校の受け入れ、2、親子参加の「体験型環境学習」①夏休み木工教室、②収穫祭と昔遊び、③林内整備とジャンボバームクーヘン&椎茸植菌、3、小学3年生の「環境体験学習」では、桂木小学校を毎学期受け入れています。桂木小学校は児童数が毎年一〇〇名以上あり、保護者の参加をお願いしています。学校・ボランティアだけでなく、保護者の応援を頂いているのが大きな特長です。

新活動地が変わって三年が経過し、遊歩道・自然観察ルートが整備され、棚田も復旧・再生されました。平成27年3月、整備された活動地を「山田の里・学習の森」としてオープンしました。

近隣の小学校・中学校・親子・老人会・自治会等の皆さんが「自然に親しみ・自然を楽しむ」活動の拠点として活用して頂きたいと思っています。



トライやる・ウィーク

山の文化が継承される一助となるならば望外の喜びであります。

(平成27年度地域環境保全功労者 環境大臣表彰受賞)

普及だより

「資源循環型林業」を目指して（確実な再造林方法の検討）

西播磨県民局 光都農林振興事務所

一 はじめに

当管内は、シカによる農林業被害の多い地域の一つです。

当県民局では、確実な再造林方法の定着と再造林への機運を高めるため、「西播磨の森林（もり）の少子高齢化モデル対策事業」を創設し、この度、林業研究グループ「西播磨親林会」の会員の皆様の協力を得て、植栽作業の省力化につながる確実な再造林方法の実証試験を行いましたので報告します。

二 植栽作業の省力化につながる

確実な再造林方法の検討

(1) 「西播磨の森林の少子高齢化モデル対策事業」の創設

この事業はスギやヒノキ、マウルチキャビティコンテナで育苗したコンテナ苗の植栽や獣害防護施設設置にかかる造林補助事業補助金の補助残助成です。

(2) コンテナ苗学習会

調査に先立ち、コンテナ苗生産現場の香美町村岡区味取に出向き、生産者の兵庫県指導林家



コンテナ苗生産現地学習

の日下部公孝氏から、その特徴や生産・植栽方法の指導を受けました。

(3) 調査内容

調査内容は、以下の二点です。

ア 急斜面と緩斜面の小面積皆伐跡地への普通（裸）苗とコンテナ苗の植栽効率

調査地は急斜面と緩斜面を設定し、普通苗とコンテナ苗それぞれ植栽にかかる工期を調査しました。

イ 苗木の食害対策（単木処理と従来の防護柵）の効果シカによる食害対策について

て単木処理（急斜面）と従来の防護柵（緩斜面）とを比較しその効果について調査しました。

(4) 植栽調査地と調査苗

ア 調査地 A（急斜面）

調査地A（急傾斜地） 平均傾斜35度	
植栽面積	0.28ha
普通苗	0.14ha
コンテナ苗	0.14ha
シカ食害対策	単木獣害防護資材
植栽本数	280本
普通苗	140本
コンテナ苗	140本

イ 調査地 B（緩斜面）

調査地B（緩傾斜地） 平均傾斜20度	
植栽面積	0.20ha
普通苗	0.10ha
コンテナ苗	0.10ha
シカ食害対策	獣害防護柵(40cm)
植栽本数	200本
普通苗	100本
コンテナ苗	100本

(5) 植栽作業の工期調査

普通苗の植栽は唐鍬で、コンテナ苗については植栽器により、同一の作業員で行い、計測しました。なお、所要時間は、苗木運搬及び植栽を含む時間です。

植栽作業工期調査 (単位:本分)			
調査区分	植栽本数	平均所要時間	平均植栽時間
調査地A			
普通苗	28	56	44
コンテナ苗	28	31	24
調査地B			
普通苗	25	59	55
コンテナ苗	25	28	25

(6) 調査結果

ア 急斜面と緩斜面の小面積皆伐跡地への普通苗とコンテナ苗の植栽効率

(ア)調査地 A（急斜面）

植栽作業時間はコンテナ苗が普通苗の約半分。(所要時間、植栽時間も55%)

(イ)調査地 B（緩斜面）

植栽作業時間はコンテナ苗が普通苗の半分以下。(所要時間で48%、植栽時間で46%)

イ 苗木の食害対策（単木処理と従来の防護柵）の効果

植栽後約5ヶ月の時点では、調査地A Bともにシカの食害も無く、普通苗、コンテナ苗の成長は良好でした。

三 まとめ

調査結果から、植栽にかかる省力化の面ではコンテナ苗に優位性が、シカの食害対策については単木処理、従来の防護柵の双方とも小面積であればどちらも有効であることがわかりました。

今後とも継続調査を実施して「山を再生し更新する資源循環型林業」を目指した確実な再造林方法の確立に向けた検討を行います。

10月25日(日)は「ひょうご森の日」 県下各地で森づくりイベントを開催

兵庫県では、平成17年10月に県立有馬富士公園で第29回全国育樹祭が開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と決めました。

今年の「ひょうご森の日」にあたる10月25日(日)を中心に、10月・11月に雑木林の間伐や里山整備等の森づくり体験活動、木工クラフトや自然観察、ウォーキング等、森に親しむことができるイベントが県下各地で開催されています。



竹細工づくりを楽しむ子どもたち

今年度は11月23日(祝)に県立やしらの森公園で全県イベントを開

催します。15周年を迎える「やしらの森の収穫祭」にて盛大に開催します。是非この機会に、ご家族で自然豊かな里山へ出かけ、楽しい一日を過ごしてください。



やしらの森の収穫祭 (昨年の様子)

※「ひょうご森の日」イベントの詳細な情報は、兵庫県ホームページに掲載しています(「ひょうご森の日」で検索)。

※イベントの内容は、天候や準備の都合で変更・中止となる場合があります。

(県豊かな森づくり課森づくり普及班)

「森林林業フォーラム2015」の開催

森林林業技術センター

本年度の森林林業フォーラムは、ちょうど10月末に森林林業技術センターの耐震・改修(木質内装化)工事が完成することから、公共施設等の木造木質化推進をテーマとして開催いたします。

「なぜ木造木質化の推進なのか?」を改めて確認することを狙いとして、京都大学五十田教授の基調講演をはじめ、課題や改善案等を発注者、建築関係者、木材供給側それぞれの立場で発言してもらい、実務レベルで解決すべき課題を明らかにする議論を通じて、今後の公共建物をはじめとする木質・木造化の推進に役立てていくこととします。

- (1) テーマ…「公共施設の木質・木造化に向けた実務面での課題を考える」
- (2) 主催…県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター
- (3) 日時…平成27年12月10日(木) 13時~16時50分
- (4) 場所…森林林業技術センター 講堂
六栗市山崎町五十波430

- (5) 参加者…80名程度
(6) 内容
ア. 基調講演

① テーマ…「なぜ国土交通省でも木造木質化の推進が掲げられているか」

- ② 講師…京大大学生存圏研究所 教授 五十田 博氏
イ. 事例発表

- ① 兵庫県住宅建築局管轄課 耐震・構造班長 植田吉則
② 西脇市 都市整備部 都市住宅課職員 橋本 将
③ (一社)兵庫県建築士事務所 協会 北はりま支部 森本恭行
(株内藤設計 兵庫支店長)

- ④ (株)木栄 代表取締役会長 足立栄逸

- ⑤ 森林林業技術センター 主席研究員 山田範彦
主任研究員 永井 智

- ウ. パネルディスカッション
① コーディネーター…
森林林業技術センター

- 木材利用部長 酒井宏一
② パネリスト…事例発表者

それぞれの立場から見た木造木質化の課題と改善の方向

多可郡における天明二年の植林記録と「天明の杉」(後編)

加東農林振興事務所 森林課 山田裕司

【前編のあらすじ】

Webページに、天明2年播磨国多可郡で山口治右衛門がスギ・ヒノキ6,000本を植えたとの記録があった。山口治右衛門は多可町加美区清水の山口祐助氏の祖先であり、天明のころに植栽されたと思われるスギ2本が残っていることもわかった。また、文献を調べると「造林功労者事績」に山口治右衛門の名前があった。

造林功労者事績に記載されている全国の功労者の多くは藩や代官の命により実施しており、いわば役人が業務として実施したものが多く、天明の記録のように農民が個人の資力で自分の山地に植林した事例では古い部類で、林政史的にも貴重な記録であることがわかった。

山林共進会報告

山林共進会は、明治15年(1882)

2月に東京上野公園において開催された全国規模の集会で、明治政府が、

増大する木材需要、民有林業の発展、森林資源の保続等を目的に開催したものだ。全国の篤林家や森林所有者が全国から結集し林業近代化のきっかけとなった。なお、これを機に大日本山林会が設立されている。

山林共進会では、先進的な植林や献身的な山林施業について、全国から2,340余りの功績が篤林家から出品され、そのうち558件に対して、特別賞、一等賞など、八区分に分けて賞を与えている。特別賞は1件で、岡山県の熊沢藩山の功績に与えられていた。558件のうち5等賞以上の功績について、山林共進会履歴の部、同経験の部として取りまとめられ、明治16年2月に農務省から文献として発行されていた(以下、「山林共進会報告」)。



山林共進会報告
(京都大学農学部収蔵)

兵庫県から7件出品されており、最高賞は山口治右衛門の功績で四等賞を与えられており、山口吉五郎が出品していた。ちなみに、前段の片岡治左衛門及び藤原宗兵衛は五等賞、園田庄十左衛門は六等賞であった。山林共進会報告の中で、天明2年に山口治右衛門がスギ・ヒノキ6,000本を植林したこと、その子孫の山口吉五郎が人家・道路に近接する樹木の伐採を禁ずる遺言をしたこと、苗を兎の害から守るために麦わらで包んだこと等が記録されていた。天明の記録は、この山林共進会報告が原著となり、総合年表に記載され、冒頭Webページの「木を植えた日本人の歴史」に記録されたものであった。

山林共進会報告の中には、当時の森林の現状と今後の木材需給の見通しが記されている。国内の木材について、薪材、炭材、建築材、鉄道用材、造船用材等に分けて、年間必要量を181百万本とし、それに対し

山林共進会報告 履歴の部

四等賞 出品人 兵庫県播磨国多可郡清嶋村 山口吉五郎

播磨の国多可郡清嶋村字山城並大河村字南山外六拾壹ヶ所の山林は、吉五郎祖先治右衛門宝曆(1751~1764)年中より所有せしか、当時山中杉檜の如きは甚(はなは)だ稀れにして栗樹其他の雑木のみ生立しを、天明二年(1782)に至りて樹木を繁殖するは皆(ただ)に子孫の生計を維持するのみならず其世用に鴻益あることを覚知し、初めて雑木の幾分を伐採し杉檜の小苗凡(約)六千株を植栽し爾(その)後年々植樹を勉め、且(かつ)子孫に遺言するに植栽の怠たる可からざることを以てせり、故に代々其志を継ぎ今に至りて尚養林植栽の事に従事せりと云う

附言 祖先吉五郎なるもの遺言して曰く、道路及び家屋近傍の樹木を伐採すへからすと、当時其の何の所以たるを知らざりしに去る慶応元年(1865)当地方に大に震す、巨石大岩の崩壊するもの無数にして人家を倒し人馬を傷くる夥(おびただ)しかりしか、独り吉五郎所有の山林に沿へる処は樹木之を支え其害を逃るることを得たり、是に於て初めて遺言の拠る処あるを知れりと云う

(一部ふりがな等を振り、一部常用漢字に置き換えている)

て現存量を3,189万本と推定。を説いている。また、秋田藩の植林現状では17年で森林資源が枯渇する。事例として「一本伐採につき15本植」と警告し、森林保護と植林の重要性。栽」等当時の林業技術などを紹介し

経験の部

〔兵庫県〕 山口、吉五郎

一 所有山林に杉松を栽植せしは天明二年業を起せしより本年に至るまで植樹の数六十万本の多きに至る、植付度後一兩年間寒暑の害に遭ふて枯死するもの凡十八万本、尚漸（ようや）く長くして一二尺回りに至り、暴風雨大雪の為に倒裂せらるるもの亦（また）六万本に下らずにして、年々伐採の木数は大小合せて凡千本とす、小苗の植付は伐木跡及び雑木草山地等を檢し、其地味地勢の適否を撰み栽植す、尤（もつとも）年々藤葛蔓の幹枝を纏圧するを除き、下柴の成木を妨ぐるを刈除するまでにして別に肥料等を施与することなし、又野火の山林に延焼するを防ぐは其林境に掘切と唱へ幅一丈深さ四尺の溝渠を開削するものとす、尤（もつとも）一度之を穿ち置けは雨水の奔流するか為に兩岸溝底を流浚し雑草の根を絶つ、故に野火これに至て止む之れ実験せる処なりと、また成木の度は地味地質により殊別ありと雖（いえど）も大約杉は植付より五十年を経て目通四尺回り余百年にして七尺回り余、松樹は五十年にして三尺回り余百年を経て六尺回り余、榎樹（モミ）は初生より五十年にして五尺回り余百年にして九尺回り余に至るものとせり

有害物の予防及び駆除

一 山林において天保十三年の春大いに毛虫を生したり、該地は過半榎樹（モミ）なるに枝葉を啄落し大に凋衰を極め苑も枯林と一般の状を為すに至る、除害百方効なく其内一古老の言に従ひ之を駆除するを得たり、其法楳樹（シキミ）を刈り林中各所に於て之を焼燻するに毛虫の落ること恰（あらか）も落葉に似たり、或は煙中に燻死し火中焼死せり、尚其根を絶ん事を欲し翌年該地大小の木種を尽く伐採せり、又種苗の未だ幼弱なる頃兎の爲めに樹皮を啄害せらるるあり之を防ぐに麦藁（むぎわら）にて苗を包むをよしと云ふ

（一部ふりがな等を振り、一部常用漢字に置き換えている）

ている。明治政府が国内の森林を科学的に分析し、近代的な林業行政への転換を図ろうとする様子が詳細に記されていて興味深い。

山林共進会報告は非常に希少な図書で、兵庫県内に収蔵している場所はなく、近隣では京都大学や大阪市立大学など数箇所収蔵されているだけであった。

なお、この山林共進会が開催された明治15年には海外の森林法規を参考に森林法案が策定されたが、法律制定はすぐには実現せず、明治29年の全国的な大水害を経て、明治30年に森林法が制定された。

まとめ

天明の記録は、明治15年に明治政府が開催した山林共進会において、山口家に代々継承されてきた記録が表彰され、全国に発表されたものであった。残念ながら山口家に伝わってきた資料は現存していなかったが、当時の植栽と思われる天明の杉がこの史実の確かさを裏付けている。

山口家の邸宅は、現在は他人の手に渡っているが、敷地2,560㎡木造平屋銅板葺き約500㎡の建物で、明治初期の建築と言われている。保存状態もよく、130年以上経った今でも大きな狂いも見られず、文

化財的価値も高い建築物である。内部は非常に質素で、豪邸によくある屋久杉や黒柿等の装飾材は一切ない。豪華絢爛でなく、質実剛健である。

専ら杉・松・樺など、地元にある樹種のみで建築されており、天明の記録の6,000本も利用されていると考えている。棟梁も地元の大工と思われ、地元木材と地元技術・職人で建築された当時の地域林業の集大成とも言える建築物である。

今後は、地域に残された貴重な財産である天明の杉と旧山口邸を地域林業の誇りとしてPRし、地域創生に役立つような利活用を考えている。

（おわり）



旧山口邸

今年もまもなく狩猟のシーズンです！



- 入山者の皆さんは、黄色など明るい色の目立つ服装を心がけてください（迷彩服は厳禁です）。
- 狩猟者の皆さんは、ルールを遵守し、狩猟事故ゼロをめざしましょう！

今年も11月15日から翌年2月15日までの間は、狩猟が解禁となります。

（※ニホンジカ及びイノシシは、兵庫県全域で3月15日まで猟期が延長されています。）

入山者の皆さん、狩猟者の皆さんは次のことに十分注意して事故防止に努めましょう。

- ◆ 入山者（ハイカー）の皆さんへ
- 1 山の中へ入られる際は、黄色など明るい色の目立つ服装を心がけてください。
- また、白色タオルはシカと間違えられやすいので、使用を控えてください。
- 2 土曜日・日曜日・祝日は、狩猟者が集中しますので、特に注意してください。
- 3 「わな」は非常に危険ですので、設置の看板（標識）がある場所へは近づかないでください。

- 4 ニホンジカ及びイノシシについては、上記のとおり兵庫県全域で3月15日まで猟期が延長されていますので、入山の際は十分注意してください。

◆ 狩猟者の皆さんへ

- 1 ニホンジカについて、県全域で1日当たり無制限に捕獲できます。
- また、淡路地域では、引き続きシカ及びイノシシについて、輪の直径が12cmを超えるくくりわなを使用して捕獲できます。
- 2 出猟に際しては、「絶対に違反・事故を起こさない」ということを自分に誓いましょう。
- 3 グループ猟の場合、狩猟開始前に狩猟場所ではどのような場合に事故が発生するおそれがあるかなど、グループの皆さんで話し合う「危険予知ミーティング」を行いましょ。

- 4 猟銃の発砲にあたっては、焦らずに必ず矢先の確認を行いましょ。
- また、こまめな脱包に努めましょ。

- 5 狩猟に出かける際は、目立つ服装や帽子の着用を心がけましょ。

- 6 猟銃の使用が禁止されている場所（鳥獣保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域（銃器）、公道等）では、絶対に銃撃を行わないようにしましょう。
- 7 銃の持ち運び、車の中及び家での保管は、決められた正しい方法で行いましょ。

- 8 「わな」には決められた標識を付け（第三者には見えない工夫を行ってください）、見回りを励行しましょ。
- 9 猟犬の管理を徹底し、狩猟の終了後、山中に放置することなく必ず連れて帰りましょ。

- 10 事前に猟場が人家近くではないか、入山者の入り込みがないかなど猟場の状況や特徴を十分確認しましょ。
- 11 たき火やタバコの火には、十分注意と後始末を心がけましょ。

- 12 狩猟マナーを守りましょ。法令違反とならない行為であ

っても、他人の迷惑となる行為は慎みましょ。

- 13 垣・さく等で囲まれた土地、作物のある土地で狩猟を行う場合は、土地所有者（占有者）の承諾を得ることが必要です。
- また、垣・さく・作物のない土地であっても、他人の土地に立ち入って、自由に狩猟する権利が認められているわけではありませぬ。土地所有者等から「狩猟をしないように」という申し入れがあった場合には、狩猟を行わないようにしましょう。

- 14 「国有林野」及び「官行造林地」に猟銃等による狩猟で入林される場合には、「入林届」の提出が必要になりますので、この手続等を行ってから入林しましょ。
- ※1週間前までに手続きを行い、「入林許可証」等の交付を受けてください。

- 15 平成28年1月3日から17日までの間、「カモ類センサスの日」として全国一斉に「ガン・カモ調査」が実施されますので、カモ猟の自粛をお願いします。
- 16 無理のない、心にゆとりのある狩猟を心がけましょ。

兵庫県・農林（水産）振興事務所

住化グリーンのエ業薬剂

松枯れ予防剂

ヤシマモリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剂2

竹駆除薬剂

クロレートS

松枯れ少量樹幹注入剂

マッケンジー

ヤマビル資材

マリックスター (ヤマビル駆除剂)
ヒルノック・エコ (ヤマビル忌避剂)

くん蒸剂

ヤシマNCS

生分解性シート

くん蒸与作シート

蜂資材

ハチノックL (蜂巣退治用)
ハチノックS (蜂撃退携帯用)

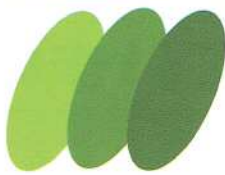


住化グリーン株式会社

本社 東京都中央区日本橋小網町1番8号

大阪営業所: 大阪市淀川区西中島7-1-26

TEL: 06-6886-0241 / FAX: 06-6886-0242



株式会社

グリーン興産

土・木・緑・そして人

とりもどそう 人にやさしい環境

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003

Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327

URL <http://www.greenkousan.co.jp>

E-mail: info@greenkousan.co.jp

みどりの集い.com あなたと共に 未来へ続く 森林づくり

“治山・林道測量”

株式会社

は経験と実績のある

石原測量

コンサルタント



本社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1

Tel (0790) 63-1377

Fax (0790) 63-1398

営業所 兵庫県姫路市夢前町筋野1078-3

Tel (079) 336-1418

安全はプロへの第一歩



刈払機



小型移動式クレーン

玉掛け

〒675-1307 小野市菅田町南野739-14

キャタピラー教習所 0794-67-2211



エムシー緑化の 林業用薬剤

ススキ ササ地に

松枯防止樹幹注入剤

フレック[®] 粒剤10

マツガード[®]

発売元 **正和商事株式会社**

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

私たちは、緑を育て、緑を守っています。



〒650-0012
神戸市中央区北長狭通 5-5-18
兵庫県森林組合連合会
TEL : 078-341-5082
FAX : 078-341-6936
E-mail : hyogomori@hyogomori.jp
HP : http://www.hyogomori.jp/

緑を育み水をつくる水源林造成事業



法令改正により、旧・独立行政法人森林総合研究所は、平成27年4月1日から国立研究開発法人森林総合研究所に名称変更しました。

国立研究開発法人森林総合研究所
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)371-2411
FAX(078)371-2413

兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)371-2446

神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

Husqvarna

550XP-JP/XPG-JP

レッドトッド・デザイン賞2013
ベスト・オブ・ベスト受賞製品



■排気量：50.1cm³

■出力：2.8KW

AutoTune

■質量：4.9/5.1kg(XPG)

本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL(079)234-8181番代
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL(0790)32-0570番
但馬店 養父市上野1357 TEL(079)664-2101番



森林を守り育て、地域の安全・安心を確保する**治山事業**。
美しい森林、豊かな緑を確保する**林道事業、造林事業、松くい虫防除事業**。



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 5 丁目5-18
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632
HP <http://www.chisanrindou.jp>



山も健康あなたも健康

日本産原木しいたけ栽培を応援します。

一般財団法人

日本きのこセンター

本部 鳥取市富安1丁目84番地 電話 0857-22-6161 (代表)
鳥取事務所 電話 0857-51-8132
鳥取市古郡家211 F A X 0857-51-8133

ジャンボ椎茸 菌興 115

申請は平成28年1月末までです。お急ぎください!!

ひょうご木づかい王国ポイント事業好評実施中!

ひょうごの木 使ってもらえる五国の恵み

今年中の「新築・リフォーム」がお得に!兵庫県産木材を使用し
て兵庫県内で家を建てられる方、リフォーム
される方に兵庫県内の選り
すぐりの農林水産品・
加工品をプレゼント!
※1ポイント=1円相当

リフォームなら
3万
ポイント
がもらえる!

新築なら
ドーンと
15万
ポイント!

「ひょうご木づかい王国ポイント」の申請受付期間

- ポイント対象期間 平成27年3月～平成27年12月末の間に契約が締結されるもの
- ポイント申請期間 平成27年4月～平成28年1月末日
- ポイント交換期間 平成27年4月～平成28年3月末日

※ひょうご木づかい王国ポイントの発行額が予算に達し次第終了。

ポイント申請に関するお問い合わせ先・申請書送付先 **ひょうご木づかい王国ポイント事務局**

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-5-7
神戸情報文化ビル 8F (神戸新聞事業社内)

申請用紙はホームページよりダウンロード

ひょうご木づかい王国 申請 検索

TEL:078-366-5955

※ポイント進呈対象者は、住宅の建築費用を最終的に負担する施主・購入者になります。
※ポイントの進呈には条件がありますので、詳細は施工業者にお尋ねください。



緑の募金にご協力をお願いします

緑の募金は、地域の緑化や森林ボランティア活動等に助成しています。
ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

ご寄付の方法

- 郵便振込 (手数料無料)
郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。
- 銀行振込 (振込手数料が必要)
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会



公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

兵庫の巨樹・巨木(15)

⑱ 三日月のムクノキ

【幹周990cm、樹高20m、樹齢八〇〇年】

兵庫県指定天然記念物

佐用郡佐用町下本郷久森邸内

下本郷の久森邸を訪ねる道沿いにもう一本、樹齢三〇〇年、幹周囲4.5mのムクノキがある。下本郷のムクノキと呼ばれ、フジが巻きついている。このムクから奥に500mの場所に久森邸があり、その屋敷内に大ムクノキがある。許しを得て邸内に入ると、日本一の三日月のムクノキに出会える。

この下本郷地域はムクの里と呼んでも良い地域だろう。



久森家と三日月のムクノキ

大ムクノキにご対面する。先ず幹の大きさに圧倒される事だろう。

その幹は空洞で大きさは、中に人が一人が入っても何不自由なく動ける大きさだ。何時から空洞化になったかは不明である。

一九九六年から樹勢回復に努めている。その内容は正面空洞にカバーの設置、空洞腐朽の進行阻止久森家の屋根を覆いかぶさっている大枝に支柱の設置、不定根の地面への誘導、土壌改良等である。



幹の正面

今問題になっているのは幹に縦亀裂が見つかった事である。

大きな空洞の幹と年々小さくなる樹冠。幹は年々衰退傾向にあり、樹冠が大きく広がるといふ相反する現象からこの巨木をどう守るか。現場に足を運び木と問答してその解決策を見いだす努力をしているのが現状である。



大枝を支える支柱



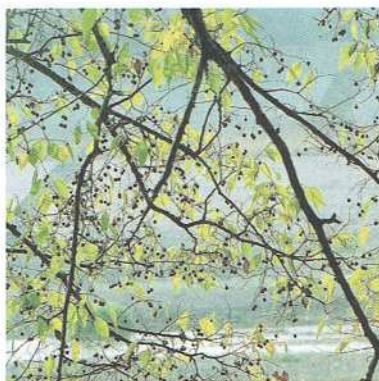
家の屋根を覆っている樹冠

近頃では街路樹や公園に植栽された樹木が、小さい時は好かれ、大きくなると落ち葉等で厄介者になるケースが多い。

石油全盛時代、里山の恩恵を知らずに育った人が多い今日、我々に木が無いと生活できない事

を考えてほしい。特に植物は動物の食糧源であることを。

ムクノキは我が兵庫県下の何処でも山地に生えている落葉高木で、大木になると高さが20mを超える。公園や人家の周囲、屋敷などでよく見られ樹木である。



核果が黒色に熟している

黒色に熟した果実は甘く、小鳥がよく食べてあちこちに種子を持ち運び、その実が何処でも芽生えるため、よく見かける樹木の種類である。

- 樹木医 橋本光政
- 樹木医 宮田和男
- 樹木医 塩見晋一